

日韓友好を志す韓国の高校生 20 名

イ ス ヒョン 李秀賢氏記念 韓国青少年訪日研修で来日

研修開始から 16 年目：李氏の遺志をつぎ将来の日韓関係を考える機会に

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）関西国際センターは、日韓友好の架け橋としての役割を担うことを志す韓国の高校生 20 名を研修生として招へいします。来日する研修生は東京・大阪・京都の 3 都市で、2 月 8 日から 15 日間の研修に臨みます。



本事業は、2001 年に JR 新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして尊い命を落とした、韓国人留学生の李秀賢（イ・スヒョン）氏の遺志をついで、将来、日韓友好の架け橋としての役割を担うことを志す韓国の高校生を毎年招へいしているもので、2002 年から実施しています。

研修では、2 月 17 日に新大久保駅で追悼・献花を行うほか、故人の母校「赤門会日本語学校」の訪問や、ドキュメンタリー映画『かけはし』の鑑賞を通じて李秀賢氏の功績を顧みるとともに、将来の日韓関係について若者の視点から考える機会とします。また、関西では大阪府立佐野高等学校や立命館大学で日本の若者と交流し、日本社会・文化への理解を深めます。

本研修は今回で 16 年目を迎え、これまでに約 300 名の修了生を輩出してきました。本研修に参加して、日本との結びつきを強くしたいとの思いを深めた修了生も多く、大学で日本関係の学科に進んだり、日本での留学や就職などを実現させ、両国の架け橋として活躍している修了生もいます。この機会に、本事業についてご取材いただきたく、宜しくお願ひ申し上げます。

【期間】 2017 年 2 月 8 日（水）～2 月 22 日（水）の 15 日間 ※2 月 16 日～18 日は東京滞在

【主要日程】

2 月 10 日（金）大阪府立佐野高校との交流（大阪）
13 日（月）立命館大学国際関係学部との交流（京都）
14 日（火）駐大阪韓国文化院 訪問（大阪）
17 日（金）ドキュメンタリー映画『かけはし』鑑賞（東京）
JR 新大久保駅での追悼・献花（東京）
赤門会日本語学校 訪問（東京）

【協力機関】

学校法人新井学園、赤門会日本語学校、特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会
立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校、駐大阪韓国文化院

●主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 関西国際センター教育事業チーム（担当：吉本、小野寺）

Tel: 072-490-2601 / E-mail: Risa_Yoshimoto@jpf.go.jp、Kento_Onodera@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ：国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：二村、諏佐）

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp